

## 第9期「布教専修課程」受講者募集要項

1. 趣 旨 宗門の基幹運動を推進し、現代の諸問題に積極的に取り組む布教の研鑽を通して、実践力ある布教使を養成する。
2. 研修テーマ 「現代社会に応える伝道」  
～一人でも多くの念仏を喜ぶ人の和をひろげる～
3. 開講期間 45日間  
第1回 2009(平成21)年12月7日(月)～12月18日(金)[12日間]  
第2回 2010(平成22)年1月19日(火)～2月4日(木)[17日間]  
第3回 2010(平成22)年2月24日(水)～3月11日(木)[16日間]  
※上記期間中、原則として月曜日から金曜日まで研修を行い、土曜日、日曜日は休講とする。
4. 開講場所 本願寺 門徒会館教場 住所：京都市下京区堀川通花屋町上ル (TEL075-371-9300)
5. 宿泊場所 学 林 寮 住所：京都市下京区油小路玉本町193 (TEL075-371-0116)
6. 募集人数 12名
7. 応募資格 (1)2009(平成21)年4月1日現在の年齢が45歳未満の布教出向経験がある布教使、または「住職課程」を修了し、布教使任用申請資格を授与された布教使任用予定者で、伝道部長が推薦し、教区教務所長(布教団長)より進達された者。  
(2)全寮制により全日程受講可能な者。
8. 研修内容 研修テーマに基づき、21世紀の宗門における布教の課題について研鑽し、人々の悩みに応える布教のあり方を習得する。

### 【布教課題】

第1回 …布教の原点と課題

～いま、私の布教はこれでよいのか～

第2回 …人々の悩みに応えるには

～いのちの共感をさまたげるものとは～

第3回 …布教の実際

～さまざまな布教現場を体験実習する～

上記の布教課題を受講者による布教実演・話し合い法座および討議、また各界有識者の特別講義を通して研鑽する。

さらに、各種の現場実習(念仏奉仕団、平安学園、社会福祉施設等)によって習得する。

9. 出願手続 下記書類(所定の用紙)にて教務所を通して伝道部宛提出してください。  
※申込書につきましては、浄土真宗本願寺派のホームページからプリントアウトするか、各教区教務所・沖縄県宗務事務所、伝道部までお問い合わせください。  
〒600-8358 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
浄土真宗本願寺派 伝道部  
(封筒の表に「布教専修課程願書在中」と明記のこと)
- ①受講申込書 1通
  - ②履歴書 1通
  - ③健康診断票 1通……西本願寺健康管理センター(あそか診療所)、または他の医療機関発行のもの。
  - ④返信用封筒 2通(封筒に相当額の切手を貼付のこと)
    - a. 受講申込書受理通知用 1通(速達特定記録用 520円分)
    - b. 合否判定通知用 1通(速達特定記録用 570円分)※各々の封筒の表に必ず住所・名前を明記してください。
  - ⑤レポート テーマ「布教の現場で、私が実感した諸問題と私の課題」  
A4判 400字詰 縦書き 原稿用紙5枚程度  
折らずに右側2箇所をホッチキス留めしコピー6部を提出。  
ワープロ可(上記原稿用紙を使用し、文字マスを入れること)。  
参考文献等があれば、その一覧表を別に添付してください。
10. 募集期間 2009(平成21)年7月9日(木)～2009(平成21)年9月7日(月)伝道部必着
11. 試験日 2009(平成21)年10月5日(月)午前8時30分受付
12. 試験会場 宗務総合庁舎
13. 試験内容 (1)布教実演試験 10分  
実演テーマ：初めて仏法を聞く人を対象とした布教  
(2)口述試験
14. 合格発表 2009(平成21)年10月8日(木)付にて、郵送で受験者全員に通知します(合格者のみ入所関係書類を同封します)。  
※合否に関わる電話でのお問い合わせは、ご遠慮ください。
15. 受講料 ￥300,000.-
16. その他 ①出願の際、書類の完備されていないものは受理しません。  
②土曜日、日曜日は原則として休講とします(届け出により外泊可)。  
③該課程を修了した者の中から、布教研究専従職員(伝道部嘱託非常勤)として、本山における布教研究に従事する者を採用します。

※お問い合わせは、伝道部(Tel.075-371-5181)内線2416までご照会ください。

以上